

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(強度計算書:火山関係)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1	NS2-添3-014-01	VI-3-別添2-1-1 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算の方針	目次.P.1.2,19	他の申請図書と記載を統一しました。(下線部参照) (旧)適用規格 (新)適用規格・基準等	2022/6/27	
2	NS2-添3-014-01	VI-3-別添2-1-1 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算の方針	P.1.4,5	「VI-3-別添2-2 防護対策施設の強度計算の方針」の追加に伴い、図書番号の繰り下げを行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-別添2-2「原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算書」 (新)VI-3-別添2-3「原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算書」	2022/6/27	
3	NS2-添3-014-01	VI-3-別添2-1-1 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算の方針	P.3	他の申請図書と記載を統一しました。(下線部参照) (旧)想定する降下火砕物及び積雪(以下「降下火砕物等」という。)による荷重に対しては・・・また、風荷重に対しては (新)想定する降下火砕物及び積雪(以下「降下火砕物等」という。)の堆積による鉛直荷重に対しては・・・また、風(台風)による水平荷重に対しては	2022/6/27	
4	NS2-添3-014-01	VI-3-別添2-1-1 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算の方針	P.4.6	構造設計での説明部位が分かるよう、表3-1及び表3-2の説明図に「ポンプベース」を追加しました。	2022/6/27	
5	NS2-添3-014-01	VI-3-別添2-1-1 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算の方針	P.5	他の申請図書と記載を統一しました。(下線部参照) (旧)想定する降下火砕物等による荷重に対しては・・・また、風荷重に対しては (新)想定する降下火砕物等の堆積による鉛直荷重に対しては・・・また、風(台風)による水平荷重に対しては	2022/6/27	
6	NS2-添3-014-01	VI-3-別添2-1-1 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算の方針	P.10	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)降下火砕物等堆積による鉛直荷重は (新)降下火砕物等の堆積による鉛直荷重は	2022/6/27	
7	NS2-添3-014-01	VI-3-別添2-1-1 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算の方針	P.11	記載を追記しました。(下線部参照) (旧)風による水平荷重 (新)風(台風)による水平荷重	2022/6/27	
8	NS2-添3-014-01	VI-3-別添2-1-1 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算の方針	P.11,13	他の申請図書と記載を統一しました。(下線部参照) (旧)fb, fc (新)fb, fc	2022/6/27	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
9	NS2-添3-014-01	VI-3-別添2-1-1 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算の方針	P.19	適用規格・基準等について、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) (4)原子力発電所耐震設計技術指針(重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984) (社)日本電気協会) (5)原子力発電所耐震設計技術指針(JEAG4601-1987)(社)日本電気協会) (6)原子力発電所耐震設計技術指針(JEAG4601-1991追補版)(社)日本電気協会) (7)発電用原子力設備規格(設計・建設規格(2005年版(2007年追補版含む。))JSME S NC1-2005/2007)(社)日本機械学会) (8)新版機械工学便覧(社)日本機械学会編1987年)  (新) (4)原子力発電所耐震設計技術指針 重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984 (社)日本電気協会) (5)原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1987(社)日本電気協会) (6)原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1991追補版(社)日本電気協会) (7)発電用原子力設備規格 設計・建設規格(2005年版(2007年追補版含む。))(JSME S NC1-2005/2007)(社)日本機械学会) (8)新版機械工学便覧(社)日本機械学会_1987年)	2022/6/27	
10	NS2-添3-014-11	VI-3-別添2-3 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算書	表紙	「VI-3-別添2-2 防護対策施設の強度計算の方針」の追加に伴い、図書番号の繰り下げを行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-別添2-2 (新)VI-3-別添2-3	2022/6/27	
11	NS2-添3-014-11	VI-3-別添2-3 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算書	目次,P.1.8	他の申請図書と記載を統一しました。(下線部参照) (旧)適用規格 (新)適用規格・基準等	2022/6/27	
12	NS2-添3-014-11	VI-3-別添2-3 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算書	P.1	「降下火砕物等」を定義する記載を追加しました。(下線部参照) (旧)降下火砕物等の堆積時においても (新)想定する降下火砕物及び積雪(以下「降下火砕物等」という。)の堆積時においても	2022/6/27	
13	NS2-添3-014-11	VI-3-別添2-3 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算書	P.1	図2-11について、鮮明な図に差し替えました。	2022/6/27	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
14	NS2-添3-014-11	VI-3-別添2-3 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算書	P.7	適用規格・基準等について、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)原子力発電所耐震設計技術指針 重要度分類・許容応力編(JEAG4601-補1984) (日本電気協会 電気技術基準調査委員会 昭和59年9月)、原子力発電所耐震設計技術指針(JEAG4601-1987)(日本電気協会 電気技術基準調査委員会 昭和62年8月)及び原子力発電所耐震設計技術指針(JEAG4601-1991追補版)(日本電気協会 電気技術基準調査委員会 平成3年12月)  (新)「原子力発電所耐震設計技術指針 重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984」((社)日本電気協会)、 「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1987」((社)日本電気協会) 及び「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1991追補版」((社)日本電気協会)	2022/6/27	
15	NS2-添3-014-11	VI-3-別添2-3 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算書	P.8	適用規格・基準等について、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) (3)建築物荷重指針・同解説(日本建築学会 2004改定) (4)原子力発電所耐震設計技術指針 重要度分類・許容応力編(JEAG4601-補1984) (日本電気協会 電気技術基準調査委員会 昭和59年9月) (5)原子力発電所耐震設計技術指針(JEAG4601-1987)(日本電気協会 電気技術基準調査委員会 昭和62年8月) (6)原子力発電所耐震設計技術指針(JEAG4601-1991追補版)(日本電気協会 電気技術基準調査委員会 平成3年12月) (7)発電用原子力設備規格(設計・建設規格 JSME S NC1-2005/2007)(日本機械学 2007年9月)  (新) (3)建築物荷重指針・同解説((社)日本建築学会, 2004年改定) (4)原子力発電所耐震設計技術指針 重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984 ((社)日本電気協会) (5)原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1987((社)日本電気協会) (6)原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1991追補版((社)日本電気協会) (7)発電用原子力設備規格 設計・建設規格(2005年版(2007年追補版含む。)) (JSME S NC1-2005/2007)((社)日本機械学)	2022/6/27	
16	NS2-添3-014-11	VI-3-別添2-3 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算書	P.9,15,16	他の申請図書と記載を統一しました。(下線部参照) (旧)fb, fc (新)fb, fc	2022/6/27	
17	NS2-添3-014-11	VI-3-別添2-3 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算書	P.12	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)伝達過程を考慮し設定している。 (新)伝達過程を考慮し設定する。	2022/6/27	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
18	NS2-添3-014-11	VI-3-別添2-3 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算書	P.15	表3-3の評価対象部位について、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)上部カバーキャップ (新)上部カバー_キャップ	2022/6/27	
19	NS2-添3-014-11	VI-3-別添2-3 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算書	P.18	項番を統一し、適正化しました。(下線部参照) (旧)イ, ロ (新)イ, ロ	2022/6/27	
20	NS2-添3-014-02	VI-3-別添2-1-2 非常用ディーゼル発電設備ディーゼル機関給気口の強度計算の方針	目次.P.1,2,17	他の申請図書と記載を統一しました。(下線部参照) (旧)適用規格 (新)適用規格・基準等	2022/6/27	
21	NS2-添3-014-02	VI-3-別添2-1-2 非常用ディーゼル発電設備ディーゼル機関給気口の強度計算の方針	P.1.4	「VI-3-別添2-2 防護対策施設の強度計算の方針」の追加に伴い、図書番号の繰り下げを行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-別添2-3「非常用ディーゼル発電設備ディーゼル機関給気口の強度計算書」 (新)VI-3-別添2-4「非常用ディーゼル発電設備ディーゼル機関給気口の強度計算書」	2022/6/27	
22	NS2-添3-014-02	VI-3-別添2-1-2 非常用ディーゼル発電設備ディーゼル機関給気口の強度計算の方針	P.3	最終的な荷重の伝達箇所及び荷重が作用する部位の記載を追記しました。(下線部参照) (旧)天板に接続する架構に伝達する構造とする。また、風(台風)による水平荷重に対しては、架構を介して基礎部に伝達する構造とする。 (新)天板に接続する架構を介して基礎部に伝達する構造とする。また、風(台風)による水平荷重に対しては、架構に作用し、架構を介して基礎部に伝達する構造とする。	2022/6/27	
23	NS2-添3-014-02	VI-3-別添2-1-2 非常用ディーゼル発電設備ディーゼル機関給気口の強度計算の方針	P.4	表3-1の説明図のうち上面図について、天板の間にある補強材の位置が分かる線を追加しました。	2022/6/27	
24	NS2-添3-014-02	VI-3-別添2-1-2 非常用ディーゼル発電設備ディーゼル機関給気口の強度計算の方針	P.5	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)常時作用させる荷重 (新)常時作用する荷重	2022/6/27	
25	NS2-添3-014-02	VI-3-別添2-1-2 非常用ディーゼル発電設備ディーゼル機関給気口の強度計算の方針	P.9	記載を追記しました。(下線部参照) (旧)風による水平荷重 (新)風(台風)による水平荷重	2022/6/27	
26	NS2-添3-014-02	VI-3-別添2-1-2 非常用ディーゼル発電設備ディーゼル機関給気口の強度計算の方針	P.10,12,16	他の申請図書と記載を統一しました。(下線部参照) (旧)fb, fc (新)fb, fc	2022/6/27	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
27	NS2-添3-014-02	VI-3-別添2-1-2 非常用ディーゼル発電設備ディーゼル機関給気口の強度計算の方針	P.17	適用規格・基準等について、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) (5)原子力発電所耐震設計技術指針(重要度分類・許容応力編 JEAG 4601・補-1984)((社)日本電気協会) (8)発電用原子力設備規格(設計・建設規格(2005年版(2007年追補版含む。))JSME S NC1-2005/2007)((社)日本機械学会) (9)新版機械工学便覧((社)日本機械学会編, 1984年)  (新) (5)原子力発電所耐震設計技術指針 重要度分類・許容応力編 JEAG 4601・補-1984((社)日本電気協会) (8)発電用原子力設備規格 設計・建設規格(2005年版(2007年追補版含む。))(JSME S NC1-2005/2007)((社)日本機械学会) (9)新版機械工学便覧((社)日本機械学会, 1984年)	2022/6/27	
28	NS2-添3-014-12	VI-3-別添2-4 非常用ディーゼル発電設備ディーゼル機関給気口の強度計算書	表紙	「VI-3-別添2-2 防護対策施設の強度計算の方針」の追加に伴い、図書番号の繰り下げを行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-別添2-3 (新)VI-3-別添2-4	2022/6/27	
29	NS2-添3-014-12	VI-3-別添2-4 非常用ディーゼル発電設備ディーゼル機関給気口の強度計算書	目次,P.1,5	他の申請図書と記載を統一しました。(下線部参照) (旧)適用規格 (新)適用規格・基準等	2022/6/27	
30	NS2-添3-014-12	VI-3-別添2-4 非常用ディーゼル発電設備ディーゼル機関給気口の強度計算書	P.1	「降下火砕物等」を定義する記載を追加しました。(下線部参照) (旧)降下火砕物等の堆積時においても (新)想定する降下火砕物及び積雪(以下「降下火砕物等」という。)の堆積時においても	2022/6/27	
31	NS2-添3-014-12	VI-3-別添2-4 非常用ディーゼル発電設備ディーゼル機関給気口の強度計算書	P.2,3,12,13	図2-2~2-4,図3-3,図3-5の天板の上面図について、天板の間にある補強材の位置が分かる線を追加しました。	2022/6/27	
32	NS2-添3-014-12	VI-3-別添2-4 非常用ディーゼル発電設備ディーゼル機関給気口の強度計算書	P.4	他の申請図書と記載を統一しました。(下線部参照) (旧)風荷重は (新)風(台風)による荷重は	2022/6/27	
33	NS2-添3-014-12	VI-3-別添2-4 非常用ディーゼル発電設備ディーゼル機関給気口の強度計算書	P.4	かぎ括弧の位置を統一しました。(下線部参照) (旧)「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1987((社)日本電気協会)」 (新)「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1987」((社)日本電気協会)	2022/6/27	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
34	NS2-添3-014-12	VI-3-別添2-4 非常用ディーゼル発電設備 ディーゼル機関給気口の強度計算書	P.5	適用規格・基準等について、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) (3)建築物荷重指針・同解説((社)日本建築学会, 2004改定) (8)発電用原子力設備規格 設計・建設規格 JSME S NC1-2005/2007((社)日本機械学) (9)新版機械工学便覧((社)日本機械学会編, 1984年)  (新) (3)建築物荷重指針・同解説((社)日本建築学会, 2004年改定) (8)発電用原子力設備規格 設計・建設規格(2005年版(2007年追補版含む。))(JSME S NC1-2005/2007)((社)日本機械学) (9)新版機械工学便覧((社)日本機械学会, 1984年)	2022/6/27	
35	NS2-添3-014-12	VI-3-別添2-4 非常用ディーゼル発電設備 ディーゼル機関給気口の強度計算書	P.6,11,14,16	他の申請図書と記載を統一しました。(下線部参照) (旧) $f_b, f_c$ (新) $\underline{f_b}, \underline{f_c}$	2022/6/27	